

競技注意事項

1、規則

- ・ 競技は2016年(公財)日本陸上競技連盟規則、及び本競技会実施要項、申し合わせ事項によって行う。

2、練習

- ① 競技場内での練習は、7時50分までとする。
- ② 陸上競技場外周園路とする。

3、競技場・スパイクピンの長さ

- ① 本競技場は、全天候型の競技場です。
- ② スパイクピンは、9mm以下の使用を厳守する。

4、招集・入退場

- ① 招集所は、第4コーナー器具庫内に設ける。
- ② 招集時間及び完了時間は下記の通りとする。

招集開始	招集完了
競技開始40分前開始	競技開始20分前完了

(競技No1.共通男子3000m1・2組は、30分前開始10分前終了)

- ③ 招集は1回で、上記の時刻までに競技者本人(代理人は認めない)が招集所に集合し、競技者係から点呼を受ける。
点呼を受けた競技者は競技者係の誘導・指示により、スタート位置に行く。
- ④ 競技者は、招集所競技者係から腰ナンバーカードを受け取り、右腰後部につけること。
- ⑤ 招集完了時刻に遅れた競技者は、棄権とみなし処理する。
(競技スタート地点に招集所の確認がなく集合した場合、出場を認められない。)
- ⑥ 競技場への入場については競技者係の指示に従う。

レースフィニッシュ後、腰ナンバーカードを係に返却し、フィニッシュ側階段から各チーム待機場所に戻る。

5、ナンバーカードおよび腰ナンバーカード

- ① ナンバーカードは、胸(腹ではない)と背にしわにならないように伸ばして、四隅をしっかりとつける。
- ② 競技者は、招集所において渡された腰ナンバーカードを右腰後部につける。

腰ナンバーカードは、フィニッシュ後、直ちに返却すること。

6、3000m・5000m・10000m競技のスタート方法について

3000m・5000m・10000m競技は、すべてグループスタートを採用する。

その場合のスタート方法は、各組のレーン番号の2/3までが内側スタート、残りの1/3が外側スタートとなる。

なお、スタート10m以内には内側・外側を分離する縁石は設置しない。

7、記録

- ① この競技会の記録については、(公財)日本陸上競技連盟への公認申請を行います。
- ② すべてのレースにおいて決勝・計時記録は、写真判定(電気計時)を採用する。

8、競技運営上の競技継続について

① 競技運営上、必要と認めた場合、審判長は特にレース圏外の競技者のレースを中止させることがある。

② 競技会要項 14、②に示す失格について

一般記録会なので、ペースメーカー(レースペースリーダー)として本競技会に参加している(周回ラップの乱高下等)と審判長判断された場合、特定競技者への助力と見なし、競技運営上他の競技者の競技に支障を生じるので、当該競技者(団体)を失格扱いとします。(125条、5、の適用、144条助力2(a)の適用)

③ 競技会要項 8、参加制限③の参加記録設定による、要項 14、②に示す競技継続打ち切りの実施について。

* 競技会要項 8、参加制限、③次に指定する種目については、競技会運営上参加制限を設定します。

(記録は本年度4月以降の(公財)日本陸連公認大会での自己最高記録)

共通(中学・高校・一般)男子 …3000m **10分45秒以内**、…5000m **16分45秒以内**、(3000m**9分45秒以内も認める**)
…10000m **34分30秒以内**、(なお5000m**16分00秒以内も認める**。)

共通(中学・高校・一般)女子 …1500m **5分15秒以内**、…3000m **12分00秒以内**、(1500m**5分30秒以内も認める**。)
…5000m **18分30秒以内**、(3000m**11分30秒以内も認める**。)

* 競技会要項 14、②,競技の継続打ち切りについて

競技会要項 8、参加制限:③に定める競技時間を超え、レース圏外の場合、該当競技を審判長権限で打ち切ることがあります。

また、競技継続の打ち切り時間を設定します。下記の【 】の時間が、その競技の最終周回通過(フィニッシュ400m前)の時間

共通(中学・高校・一般)男子 …3000m【**9分30秒**】…5000m【**15分30秒**】…10000m【**33分30秒**】

共通(中学・高校・一般)女子 …1500m【**4分00秒**】…3000m【**10分45秒**】…5000m【**17分15秒**】

9、抗議

抗議申立書と預託金10,000円を添えて総務に提出。(記録結果発表後30分以内)

10、その他

① プログラム記載内容の訂正は、総務へ申し出ること。

なお 召集所におけるコール処理・出発編成準備のため、競技No1、は、7:45まで

競技No2、以降の競技については、該当競技No召集開始30分前までとする。

プログラムの訂正・追加については、主催者側の誤編成・誤記等以外は受け付けない。

② 控所、トイレ等の競技場内外及び付帯設備の整理・整頓に努める。

(各学校の顧問の先生方へ。ゴミ・空缶等の持ち帰りの指導をよろしくお願いいたします。)

③ 各自の持ち物については自分自身で管理し、盗難には十分注意すること。主催者で責任は負わない。

体育館1F、小体育室①を11時～13時、小体育室②を13時～19時を借用しています。

更衣・個人での参加のときの荷物置き場等で御使用ください。

なお、雨天時はランニングアドバイス・クリニックの会場になります。

④ グラウンドには、競技者・競技役員以外は入ってはいけない。

競技者の、フィールドを横断して競技スタート場所への往復、本部前通行は禁止とする。

(スタンド及び陸上競技場外周路を通過、スタート地点・競技場所に移動する)

チームメイトのウェアなどを受け取りに、競技者以外がグラウンドに入ることを認めない。

⑤ 競技中に発生した事故などについては、応急処置を主催者で行うが、以後の責任は負わない。

競技参加者は、スポーツ傷害保険等に加入していることが望ましい。

⑥ 陸上競技場以外の松戸運動公園内施設(体育館小体育室①・②を除く)は、借用していないので立ち入らないこと。